

### 祝 各種表彰受賞



総務大臣表彰  
村上 周司さん  
(安沢)

平成4年より、計61回の各種基幹統計調査に従事され、長年にわたり統計行政の推進に多大な貢献をされたことが認められ受賞されました。



栃木県統計協会  
名誉会長表彰  
石川 京子さん  
(乙畑)

平成27年より、計18回の各種基幹統計調査に従事され、統計行政の推進に多大な貢献をされたことが認められ受賞されました。



厚生労働大臣表彰  
大貫 充隆さん  
(扇町一丁目)

平成13年より、長年にわたり本市国民健康保険運営協議会委員を務め、国保事業の適正な運営と健全化に貢献されたことが認められ受賞されました。

### 12/1 (木) 被害者に寄り添う支援を考える

泉中学校で、大田原人権擁護委員協議会矢板部会と市の主催による人権講話が行われました。これは、人権啓発活動の一環として毎年行われているものです。今回は、本市として10月に犯罪被害者等支援条例を施行、11月には(公社)被害者支援センターとちぎ・矢板警察署と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結したことから、両者を招き被害者支援に関するテーマで講話が行われました。

受講した生徒は「他人事ではなく、被害者の気持ちに寄り添うことを心掛けたい」と話していました。



### 12/3 (土) 一緒に森を作ろう！みんなで植林にチャレンジ

立足地区の山林で、林業成長産業化地域創出モデル事業の一環として、「スギ植林イベント」が行われました。この事業は、植林を担いたい人材を確保するとともに、植林を担いたい人と植林現場をつなぐ「植林マッチングシステム」を構築することを目的に開催され、市内外から44の方が参加しました。

植林した苗木は、花粉が少ないとされる「少花粉スギ」500本で、参加した皆さんは、「大きくなりますように」と願いを込め、初めての植林を楽しみました。



### 12/4 (日) 仲間を信じて襷をつなぐ

塩谷地区2市2町を9区間で走り抜ける「塩谷地区駅伝競走大会」が行われ、本市から2チームが出場し、健脚を競いました。当日は沿道からの声援に後押しを受けた選手の皆さんが、地域の代表として懸命に襷をつなぐ走りを見せてくれました。また、力走を見せた第4区神山 晃士朗選手、千野根 友輝選手、第9区大澤 瑠海選手が区間賞を獲得し表彰を受けました。

千野根選手は「矢板代表としてチームのために走りました。練習の成果を発揮でき、区間賞を取ることができてうれしい」と感想を話してくれました。



### 矢板市をワクワクする“まち”に！高校生がイベント開催

市では、高校生を中心とした若者の地域定着を図るため、「高校生地域定着促進モデル事業」に取り組んでいます。今回、当事業により市内の高校生団体 YAD (Yaita All Directions) が企画したイベントが開催されました。



#### 11/26 (土) 懐かしの校舎で思い出づくり！共同文化祭

HCCソフト(株)研究開発センター(旧西小学校)で、共同文化祭が開催され、高校生が企画したカフェや黒板アートなどが行われました。

来場者は「高校生の手作り感満載で、楽しい時間を過ごせた」と話してくれました。



#### 12/11 (日) OUTDOOR FES@長峰公園 2022

長峰公園で OUTDOOR FES が開催され、来場者はツリークライミングや丸太早切りなどの体験を満喫しました。団体代表の漆原さんは「強風で気球を飛ばせなかったのが残念でしたが、地域の方と交流ができた貴重な時間でした」と話してくれました。



### 「矢板武没後 100 年だよ、全員集合！」イベント続々

矢板武記念館などで、矢板 武の没後 100 年を記念する各種イベントが開催されました。引き続き3月にかけて、関連イベントが開催予定ですので、ぜひご参加ください。



#### 12/11 (日) 講演会「経済人・矢板武～那須野が原開拓から鉄道・銀行へ～」

生涯学習館で、講師に金井 忠夫さん(那須資料ネット代表・前那須野が原博物館長)を招き、講演会が行われました。矢板 武の功績などが語られ、54人の参加者は熱心に聞き入りました。



#### 12/18 (日) 朗読会 春待月のあかり

矢板武記念館で、団体『まちのあかり』による朗読会が行われ、語り手により、雪女・口紅のとき・たぬきの糸車の3作品が披露されました。20人の参加者は静かに耳を傾け、作品を楽しみました。



#### 12/18 (日) ぶっくりプラバンキーホルダーづくり

矢板武記念館で、液体状の樹脂であるUVレジン液を使ったキーホルダーづくりが行われました。たけりんのイラストを描き作成した親子連れは「かわいく作ることができて、楽しかった」と話してくれました。



#### 12/18 (日) あんどん&和傘イルミネーション

矢板武記念館の庭園で、市内の子どもたちが描いたイラストで作成したあんどん16個と和傘のライトアップが行われました。これらは一週間にわたり開催され、和風イルミネーションを楽しみにたくさんの人が来場しました。





12/5 (月) 矢板のデジタル化に助っ人補佐官

市役所で、横塚副市長が務めるCIOの補佐官に、Modis株式会社のネットワークエンジニアで、本市の地域活性化起業者として活動する秋本 一樹さんを選任し、委嘱式が行われました。これは、デジタル技術を使って業務効率化につなげるDX(デジタルトランスフォーメーション)の加速を目指す本市に対し、専門的な知見から助言や支援をしていただくほか、市民へのデジタル政策の普及促進を目的に委嘱したものです。

秋本さんは「デジタルバリアフリーのまちを目指す矢板のために貢献していきたい」と抱負を話していました。

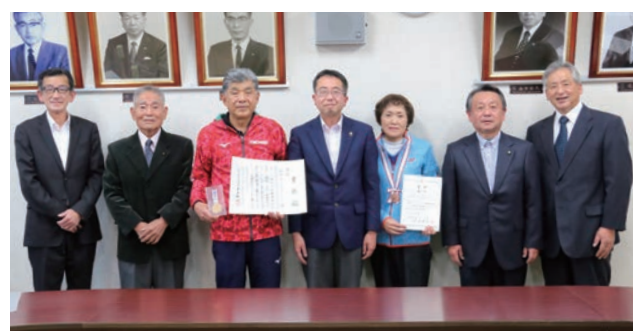


(左から)横塚副市長(CIO)、齋藤市長、Modis株式会社 秋本 CIO 補佐官兼地域活性化起業者、種畑イノベーション&キャリア開発本部未来創造部長  
CIO: Chief Information Officer の略称。最高情報責任者を意味する。

12/7 (水) シニアチームが躍動、ソフトテニスで日本一!

市役所で、各種大会で成績を取めた市ソフトテニス協会の表敬訪問がありました。副会長・小原さんは、第26回全日本シニアソフトテニス選手権大会・女子ダブルス65歳で、本県代表として3位入賞、会長・伊藤さんは、ねりんピックかながわ2022スポーツ交流大会の選手兼監督を務め、見事団体優勝を果たしました。

伊藤さんは、「建設中の施設が完成すれば、インドアテニスができるようになるなど、矢板のテニス環境がもっとよくなる」と、とちぎフットボールセンター隣接地に完成予定の文化スポーツ複合施設に期待を寄せました。



(左から)横塚副市長、ソフトテニス協会渡邊名誉顧問、伊藤会長、齋藤市長、小原副会長、関副会長、村上教育長

12/8 (木) 安心・安全な年の瀬を迎えるために地域連携パトロール

市内で、矢板地区防犯協会による「防火・防犯診断」が実施されました。この取り組みは、慌ただしさが増す師走に、火災や犯罪の発生可能性が高まるとされていることから、市民の皆さんが、安心・安全に年末年始を過ごせるよう、市・警察署・消防団が連携し毎年行っているものです。

市役所での出発式で市長は、「地域の総合力を発揮して、安全・安心な矢板市づくりを推進していきたい」と決意を新たにし、その後、市内各所で車や自転車の施錠確認・市民の方への声掛けなどパトロールを行いました。



12/9 (金) じんけん大使に就任したナリー!

市役所で、市キャラクターともなりくんが宇都宮地方法務局から「じんけん大使」に委嘱されました。今後ともなりくんは、さまざまな人権啓発活動に参加し、市民の皆さんに人権問題を身近なこととして理解を深めてもらえるよう取り組んでいきます。

【各種人権相談窓口】

悩みごとや困りごとがあったら、ひとりで悩まずに法務局や人権擁護委員に相談しましょう。秘密は守り、無料で相談できます。

- ・みんなの人権110番 0570(003)110
- ・子どもの人権110番 0120(007)110
- ・女性の人権ホットライン 0570(070)810
- ・インターネット人権相談 <https://www.jinken.go.jp>



(左から)人KEN まもる君、萩原宇都宮地方法務局大田原支局長、ともなりくん、齋藤市長、人KEN あゆみちゃん

12/9 (金) ともなりライブラリー「もりもりボックス」がパワーアップ!

市役所で、寄附贈呈式が行われ木幡在住の森 純一様・珠江様ご夫妻から、昨年に引き続き寄附金50万円の目録が贈られました。森様の寄附によって購入した電子書籍は、市立小・中学生が利用する学校電子図書館「ともなりライブラリー」内に「もりもりボックス」コーナーが設けられ、子どもたちの読書環境整備に充てられています。

森ご夫妻は「読書を通じて物事を極める力を身に付けてもらいたい。また、国・地域・家庭の宝である子どもたちが、たくさんの本に出会い、一つでも多くの感動を経験できればうれしい」と話してくれました。



(左から)ともなりライブラリー館長、ともなりくん、齋藤市長、森珠江さん、森純一さん

12/9 (金) 泉中学校3年生の皆さんへ、あなたは何色の花を咲かせますか?

泉中学校で、「はやぶさ2」プロジェクトメンバーである高野 淑識さんを迎え「地球宇宙科学への招待：好奇心という源泉」と題し、閉校記念講演会が行われました。一般の方も参加可能とあって、生徒および学校関係者を含め約100人の参加者が聴講しました。生徒代表の伊東 ひなさんは、「努力した分は失敗も含め必ず自分の糧になる」という言葉が印象的でした。これからいろいろなことにチャレンジしたい」とお礼の言葉を述べました。高野さんは、「夢を見つけ、夢を語り、チャレンジをしてほしい。そして、それぞれあなた色の「本物の花」を咲かせてほしい」と締めくくりました。



12/14 (水) グラウンド・ゴルフで団体の部・全国優勝!個人の部・準優勝!

市役所で、各種大会で成績を取めた市および県グラウンド・ゴルフ協会の表敬訪問がありました。全国交歓群馬県大会では団体の部で優勝、また個人の部で、佐藤 孝子さんが準優勝に輝きました。このほか佐藤さんは、関東地区東京都大会・矢切コース・女子の部で優勝を果たしました。

室町さんは、「全国大会で、団体・個人の部のダブル入賞は初めて。栃木県代表として誇らしい」と喜びを語りました。また、石下会長は「市内のグラウンドは良質な芝で、環境が整っていて、大変ありがたい。さらに高みを目指し鍛錬したい」と感謝を述べました。



(左から)横塚副市長、石下市協会会長、室町県協会事務局長、佐藤県協会女性部役員、川崎県協会副理事長、須藤市協会理事長、齋藤市長、村上教育長

12/16 (金) ブラボー!ヴェルフェ矢板U-12全国大会へ

市役所でJFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会県予選で優勝し、全国大会への出場を決めたヴェルフェ矢板U-12・fleurの選手や監督などの表敬訪問がありました。決勝戦では、当チームが栃木SCを1-0で下し、2年連続4度目の優勝を勝ち取りました。

監督からは「全国大会は47都道府県の代表が出場するため、レベルの高い大会になる。まずはベスト16を目指してがんばりたい」と話があり、選手は「栃木の代表として誇りを持ち、悔いのない試合をして帰ってきたい」と意気込みを話してくれました。

